

チェロ ソロ首席 三宅 進に聞く 10月の第358回定期演奏会の 「聴きどころ！」

●ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調

今回のソリストは、若手チェリストのトップの一人として大注目の佐藤晴真さん。彼が優勝したミュンヘン国際音楽コンクールというのは、他のコンクールとちょっと存在が違うんですよ。伝統ある本場ドイツの、そのドイツ音楽のどまんなかにあるコンクール。そのチェロ部門で日本人として初の第1位になったというのは、実はものすごいことなんです(これまで堤剛さん、横坂源さんが第2位に入賞していますが、日本人の第1位は初めて)。僕はとても期待しています。



ドヴォルザークのチェロ協奏曲ですが、僕の中では「協奏曲」というよりもむしろ「交響曲」の仲間に入るような作品ですね。ソロだけが目立って活躍するのではなくて、ソロとオーケストラが一緒になって創り上げる作品(こうしたキャラクターは、他の協奏曲よりも顕著だと思います)。だからこそ、オーケストラ側から見ても面白い作品なんですよ。

作品が書かれた時代としては、ドヴォルザークがちょうどアメリカに音楽院長として渡っていた時ですね。忙しい職務の中にあっただヴォルザークの慰めとなっていたのは、先住民族の音楽、黒人霊歌といったアメリカの音楽。その異国の情緒というのが音楽にも大いに反映されていて、出だしの部分だけでも、短調で始まったと思うと長調に変化したり、ブルース・コード(※黒人の民俗音楽から派生したブルース。その独特の和声進行)が出てきたりする。いやあ、面白いなあと思います。

そして、この曲のテーマはずばり「とにかく俺は家に帰りたんだ！」ということ(笑)。ドヴォルザークがアメリカで感じていた異国における郷愁の思いに、アメリカ音楽の良さも加わって、まさに望郷の念が極まったようなところがあります。リヒャルト・シュトラウスの「ドン・キホーテ」(※主人公を表すテーマをチェロ独奏が演奏する管弦楽の傑作)の最終部分で、ドン・キホーテが長い冒険を終えてついに故郷に帰って来る感動的な描写がありますが、あの雰囲気・味わいに共通するような感じが僕はしますね。僕自身も、この協奏曲のソロは何度か弾いたことがあります。ソリストとしてもとてもやりがいのある曲で、伴奏とソロという感覚ではないんですよ。オーケストラの他の楽器との絡みがすごくメロディックで、室内乐的でもある。そして全楽章を通じて、ドヴォルザークの望郷の念、彼の心の動きが音楽として流れているんです。アメリカ音楽の情緒の良さもあるし、美しいメロディも素晴らしい！(もしかしたら、交響曲「新世界より」よりもいい曲なんじゃない？(笑))

佐藤さんのソロに期待しつつ、オーケストラにも大注目の曲。そして飯守マエストロがどのように創り上げるか、楽しみだなあ。

～～裏面へ続く～～

●シューマン：交響曲第3番「ライン」変ホ長調

シューマンの交響曲第3番「ライン」変ホ長調は、ロマン派の交響曲のひとつの頂点ですね。指揮をとる飯守マエストロは調性に対する思いがとても深く、「この調性はこんな色で」といったことをいつも仰るんです。今回の「ライン」の“変ホ長調”は(たぶん飯守マエストロが好きな調性じゃないかなって僕は思うんですが)、雄大さがあって、幸福感も感じられる調性。それに、変ホ長調には名曲が多いんですよ(ベートーヴェンの「英雄」、リヒャルト・シュトラウスの「英雄の生涯」など…)

交響曲「ライン」は変ホ長調という調性らしく、とても聴きやすいし、シューマンの作品のなかでも親しみやすく、しみじみと広がる雄大な音楽ですね。

シューマンがこの作品を書いたのは、ドイツのデュッセルドルフに移って間もない頃のことです。実は彼自身の当時のメンタルな状態はあまりよくなかったんです。逆に、シューマン自身が、雄大なもの、明るいものに憧れていたんだろうって思うし、そんな時にデュッセルドルフを大きなライン川が流れていたんじゃないかなって…僕は思うんです。

そして、この交響曲「ライン」は、まさに「飯守ワールド」の真骨頂といえるでしょう。飯守マエストロは「楽器を弾く前に、そのあと生まれる和音を想像してから弾いてほしい」とリハーサルでオーケストラに仰るんです。こうしたことをオーケストラに言う指揮者は、今では日本はおろか世界でも少ないですよ。この「ライン」の最初の変ホ長調の和音を、私たちオーケストラがどう出すのか、そして飯守マエストロがどのように構築していくのか、とても楽しみにしています。

仙台フィル第358回定期演奏会／ 10月7日(金)19時／8日(土)15時

指揮：飯守泰次郎 チェロ：佐藤晴真／ドヴォルザーク：チェロ協奏曲、シューマン：交響曲第3番「ライン」

S席：¥5,100／S席ユース：¥2,000／A席：¥4,600／A席ユース：¥1,500／Z席：¥2,000

※ユース券は演奏会当日に25歳未満の方が対象です／※未就学児の入場はできません

お問い合わせ 仙台フィルサービス TEL:022-225-3934(受付:平日 10:00~18:00)